

安全な社会にするためには

太田市立宝泉小学校 六年 生田健

ぼくは、安全な社会を作るために大切なことは何か考えてみました。そして、みんなが気をつける三つのことを思いひきました。それは頭文字をとって「スイカル」と表すことができます。

一、目は、スマートフォンの「ス」

二、目は、いじめの「イ」

三、目は、お金の「カ」

です。この三つが大切だと考えたのには理由があります。

まず、スマートフォンはその場で何でもでき、便利ですが、使い方をまちがえすると自分が困ったり他の人にめいわくをかけてしまうことがあるからです。例えば、簡単にお金を手に入れるために闇バイトに入ってしまったら、ゲームに夢中になってアイテムに課金しすぎてしまうことがあります。このようなくとは、一度してしまえば自分では気づかない。



うちにやめられなくなっ、てしまいます。もしギャンブル依存症になっ、てしまふと、家族や周りの人たちも不幸になっ、てしまふかもしれせん。

次に、いいぬはどんな理由があっ、てもしてはいけなからです。もしふざけ、ているような軽い気持ちでやっ、てしまっ、たとしても、相手かどんなにつらい思いをするかわかりません。それがきっ、かけになっ、て自分を傷、つたり、学校に行けなくなっ、てしまふかもしれません。

そうなければいいめた人もつらい思いをします。それが大人になっ、ても一生バに残っ、てしまふかもしれません。

そして、お金は貸しても借りても人ラブルを起、こすことがあるからです。だから、いくら親友だとしても軽い気持ちでお金の貸し借りをすることはやめるべきです。特に、子ども。親がたいへんな思いを、して働いて手に入れているものです。だから、金額が少くない



か多いかは関係なく大切にしないではいけません。それに、貸したお金が返ってこないか、たり、借いたお金が返せなかったりすればお互いに相手のことを信じていられなくなってしまう。

このように、「スイカ」の一つ一つには大切にしなければいけない理由があります。しかし、それだけではありません。この三つのことはすべてつながりがあります。スマートフォンは使い方をまちがうといじめの原因にな

ったたりスマートフォンだけでお金の貸し借りも簡単にできてしまいます。どちらも相手と直接会ったり、話したりしなくても文字や数字を書き込ただけでできてしまいます。だから、安全な社会を作るためにはみんなが、スイカに気をつけるだけでは足りません。子どもとうし、大人とうし、子どもと大人が直接会って相手の顔を見たり声を聞いたりすることが大切です。そうすれば、相手や周りの人の気持ちに気づくことができたり、相手



を思いやることかですて、安全な社会をつくることかですて思います。

ぼくは、クラスの友達や家族や周りの人たちに話しかけて、「スイカ」のトラブルをなくしていきたいです。